平成２７年度　とよかわ市民協働基本方針実施計画施策評価結果

評価結果一覧

方針名	施策名	委員会評価
参加促進	活動情報のＰＲ	３．４
	活動機会や学習機会の提供	３．６
	参加しやすい環境整備	３．６
	地域での協働の促進	３．９
環境整備	活動情報の提供と団体交流の促進	３．４
	活動場所の確保・充実	３．５
	人材育成と団体運営の支援	３．７
	資金的な支援制度の整備	３．４
協働推進	協働推進に向けての意識啓発	３．９
	市民の声・情報の共有	３．３
	協働推進体制の整備	４．１
施策推進	施策の評価と基本方針・実施計画の見直し	３．２

※委員会評価の点数は、裏面にある５点満点評価の数値を使い配点をしています。

委員会意見

総合評価については、４点以上が１施策でしたが、平成２６年度と比べ１２施策中、９施策の評価が上昇しました。概ね、具体策の目的達成度や効果は計画どおりであり、継続して行うべきであると考えられます。

「協働推進体制の整備」については、昨年度同様高い点数を維持し、特徴的な取組みとしては、平成２７年度から市民協働推進事業補助金を開始したことで、地域で埋もれていた協働事業を発掘することができ、公開プレゼンテーションを活用し世間に広く周知することで市民活動団体のやる気にも繋がったと思います。昨年度指摘事項としてあげた「資金的な支援制度の整備」では、具体策「寄付金制度に関する情報提供や意識啓発」について、今まで具体的な取組みがなされていませんでしたが、平成２７年度は効果的な周知方法として新たに郵便局窓口へのチラシ設置や、各種イベントでのチラシ配布など寄付制度の周知啓発に力を入れたことで寄付件数が増加したことは評価します。

また、「活動機会や学習機会の提供」についても、今まで調整中であった先進事例の調査・研究について、先進都市への視察を行ったことや、ボランティア受け入れ状況の調査・情報提供については、中間支援団体と協力しながら市民ボランティア情報システムを構築したことを評価します。今後は、市民ボランティア情報システムが有効活用されるように周知徹底をし、ボランティアへの参加を促せるよう期待します。

それ以外に、「活動情報のＰＲ」及び「参加しやすい環境整備」については、特に力を入れていく必要があると思いますので、委員会として以下のとおり意見します。

○活動情報のＰＲについて

具体策「活動情報紙の発行」については、情報紙の発行が目的ではなく、いかに活動の

周知を図るかが課題だと思いますので、より良い情報紙になるよう努めてください。

具体策「活動情報の広報紙やホームページへの掲載」については、タイムリーな情報提供に努めるとともに、市・ボランティアセンターのホームページなども有効活用し、市民活動に関する情報を広く市民に提供できるよう情報サイトの活用を望みます。

具体策「企業情報紙の活用」については、平成２７年度実施した企業訪問やアンケートを実施したことは評価しますが、今回調査を実施した企業以外へも調査が必要と思われますので、平成２８年度に実施予定の市内に住所を有する１００社に対して行う市民意識調査に期待します。

〇参加しやすい環境整備について

具体策「誰もが参加しやすい講座などの企画・開催」については、毎年同じ内容の講座開催のように感じます。各種講座の内容を充実させる努力が必要だと思います。

また、今後の人材を育成するために若年層が参加できる講座の設定があると良いと感じました。

参考

評価の基準

5	具体策の目的達成度や効果は非常に良好であり、継続して行うべきである
4	具体策の目的達成度や効果は良好であり、継続して行うべきである
3	具体策の目的達成度や効果は計画どおりであり、継続して行うべきである
2	具体策の目的達成度や効果が少し不十分であり、内容の一部見直しを要する
1	具体策の目的達成度や効果が不十分であり、根本的見直し、または中止を要する